

VMAマス・スクリーニング精度管理部会報告

部会世話人 小 原 千 秋
(国立小児病院)

第一回VMA精度管理を去る58年9月に下記の通り実施したのでその結果について報告する。

精度管理用試料作製について

1. SPOT 法

№1 から№8の数字が記入されている沓紙8枚と、A, B, C, Dと記入されている4枚の沓紙を用意し、A, B, C, Dと記入されている4枚の沓紙には、VMA標準液を40 μ g, 20 μ g, 10 μ gと5 μ gに濃度設定し吸着させた。数字の記入されている沓紙には№1と№3にVMA陽性尿, №5に濃縮尿(クレアチニン110mg/ml)を、その他の番号には陰性尿をそれぞれ吸着し試料を作製した(東洋沓紙№2を使用)。

2. Dip 法

Spot 法と同一の試料を名古屋衛生研究所へ送付し上記と同じように試料作製してもらった。

回答方法について

1. A B C Dと記入されている試料の検査結果は、陽性度の強いものから順に1, 2, 3, 4と順位をつけ記入してもらった。
2. 数字の記入されている試料の検査結果は、陽性は(+)陰性は(-)として記入してもらった。

結 果

1. 参加12施設の内(担当施設含む)Spot 法での測定は6施設でDip法での測定法は5施設であった。
2. A, B, C, Dと記入されている試料の結果は、参加全施設が同一の結果を得た。
3. 数字の記入されている試料の結果は、№1と№3は全施設が陽性と回答、№5については陽性としての回答が8施設、№6については陽性としての回答が4施設得られた。その他の番号はすべて陰性との回答を得た(別表参照)

考 察

今回の精度管理は技術者の目をならすことを第一の目的としたが、第一回目で、不備な点が多々見受けられた。今後の問題点としては次の通りである。

1. 回答欄にコメント欄を作製し、疑問点又は気がついた点を記入する。

2. 測定法の種類の記入欄を作製
3. 精度管理用の尿については、あらかじめその値の定量値を測定しておく。
4. 今後どのような方法で精度管理を実施していくかについては検討を重ねたい。

別表

昭和58年度（第1回）

VMA精度管理調査票

注意事項

試料について

- ◇ 測定法にSpot法を採用している施設には、尿を吸着させた12枚の汚紙をお渡ししますので確認してください。
- ◇ 測定法にDip法を採用している施設には、尿を入れた容器を12個お渡ししますので確認してください。

回答記入について

- ◇ A・B・C・D と記入された試料の検査結果は、陽性度の強いものから順に1・2・3・4と順位をつけ、回答用紙の該当欄にその数字を記入してください。
- ◇ 1から8までの数字が記入されている試料の検査結果は、陽性は＋、陰性は－として、その何れかを回答用紙の該当欄に記入して下さい。

担当施設

国 立 小 児 病 院
〒 154 東京都世田谷区太子堂 3-35-31

回 答 用 紙

回 答 欄												
試料	A	B	C	D	1	2	3	4	5	6	7	8
検査結果												
陽性度の強いものから順に 数字を記入してください。					陽性は＋，陰性－の何れかを 記入してください。							

施 設 名	
調査票記入者名	

⑧ 試料 1 ～ 8 中の VMA 量 ($\mu\text{g}/\text{ml}$) は次のごとくであった。

1. 72.8 (NB 患者尿)
2. 3.5 (正常児尿)
3. 48.9 (NB 患者尿)
4. 1.4 (正常児尿)
5. 16.5 (正常児の濃縮尿)
6. 10.9 (正常児尿)
7. 1.3 (")
8. 1.3 (")

第 1 回 V M A 精度管理報告書 (S. 58, 11. 25)

施設番号	測定法	試料	A	B	C	D	1	2	3	4	5	6	7	8
1	DIP		1	2	3	4	+	-	+	-	+	-	-	-
2	DIP		1	2	3	4	+	-	+	-	+	+	-	-
3	SPOT		1	2	3	4	+	-	+	-	-	-	-	-
4	DIP		1	2	3	4	+	-	+	-	+	-	-	-
5	DIP		1	2	3	4	+	-	+	-	+	±	-	-
6	DIP		1	2	3	4	+	-	+	-	-	-	-	-
7	SPOT		1	2	3	4	+	-	+	-	±	-	-	-
8	DIP		1	2	3	4	+	-	+	-	+	-	-	-
9	SPOT		1	2	3	4	+	-	+	-	+	+	-	-
10	SPOT		1	2	3	4	+	-	+	-	+	+	-	-
11	SPOT		1	2	3	4	+	-	+	-	-	-	-	-
※	SPOT		1	2	3	4	+	-	+	-	-	-	-	-

○ 参加施設・記入者一覧表 (順不同)

聖マリアンナ医大小児保健研究室	：田中佳世子・宮川富三雄	
東京都立衛生研究所	：武士俣邦雄	
京都府立医大	：石原由紀	
大阪市立此花保健所	：富永 博	
名古屋衛生研究所	：中田利一・児玉京子	
神奈川県衛生研究所	：新川隆康	
神奈川県予防医学協会	：木下洋子	
埼玉県立大宮小児保健センター	：深谷順子	
横須賀市衛生試験所	：中村 匡	
札幌市衛生研究所	：佐藤泰昌	
大阪市東住吉保健所	：高橋京子	

※ 担当施設 国立小児病院 ： 小原千秋